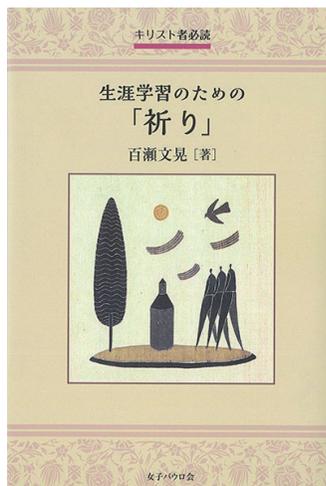


2024年 **新刊**
10月上旬 発売

書店・番線印



ご担当者

冊

著 百瀬 文晃

イエズス会司祭。神学博士。1940年生まれ。1970年フランクフルトで司祭叙階。帰国後は上智大学神学部で教義学を教える。2001年アテネオ・デ・マニラ大学ロヨラ神学部で客員教授。2007年よりカトリック広島教区で司牧に従事し、現在に至る。

著書に『キリスト者必読生涯学習のためのキリスト論』、『キリスト者必読生涯学習のための教会論』、『ここが知りたいキリスト教への25の質問』、『子どもたちと読む聖書』(女子パウロ会)他がある。

定価1,485円(本体1,350円+税)
四六判 176頁 並製 C0016
ISBN 978-4-7896-0842-8
NDC196

キリスト者必読 生涯学習のための「祈り」

祈りは、新年や人生の節目、困難に遭遇したときだけに必要なものではありません。生涯にわたり、各自の仕方でも祈りを学び深めていくことで、心豊かに充実した日々を送る道が開かれていくでしょう。

本書は、そのような祈りの習得に役立つため、祈りの基本からカトリック教会の伝統的な祈りまで、実践に向けて具体的に分かりやすく解説しました。

養成講座の講話を加除修正した、話し言葉が基のものです。そのうえ、共感を呼ぶ身近なことや筆者の体験も、ときおり例に挙げていますので、読み進めやすいです。

人には、自分を越える存在を漠然と感じとり、それに向かって祈る心が、生まれながらに備わっているのではないのでしょうか。(第一章 イエスの生きざまと教え)

祈ることを習慣づけると、その人の生き方の質が変わってきます。「生き方の質」……要するに、「幸せになる」ということでしょうか。……もっと喜びをもって生きることができるし、周囲の人にも喜びを与える、ということです。(第二章 祈りの基本)

自分が生きるために必要なことがらを祈り求めるだけでなく、それらを欠いている貧しい人々のために祈ることも忘れてはなりません。神さまがお望みなのは、わたしたちが互いに兄弟姉妹として、いただいた恵みを分かちあうことだからです。(第五章「主の祈り」)

もし自分の中に、正義を求める心、人を思いやる心、自分のもっているものを惜しみなく差し出す心などがあれば、それは神さまを源としているのです。こうして、恵みの源泉である神さまの愛にどのようにお応えすればよいのかと、自分自身を振り返ります。(第十章 愛を得るための観想)

キリスト者必読
生涯学習のための「祈り」

女子パウロ会 発行

ISBN 978-4-7896-0842-8 C0016

百瀬 文晃 著

本体1,350円+税



女子パウロ会 発行 107-0052 東京都港区赤坂 8-12-42 TEL 03-3479-3943 FAX 03-3479-3944